

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
総合柔道整復学2							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・昼間部	3年	1期	住吉 泰之		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	臨床柔道整復学			座学	1	10	
科目概要							
骨折・脱臼・軟部組織損傷において正しく解剖学的評価ができるように、運動器の構造機能について基礎的知識を深め、損傷に対して正しい臨床的評価ができるように思考を深めていく。							
目標							
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標		柔道整復師に関わる「損傷」を理解するために解剖学的要素として ①解剖学構造を理解し、説明できるようにする。 ②運動器の作用を理解して、損傷の際の異常を判断できるようにする。 ③運動器に欠かせない神経的要素を理解して説明できるようにする。 以上の知識を獲得する。					
履修に必要な予備知識や技能							
到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)		1.肩関節の構造特徴、回旋筋腱板による保護、主要筋群の理解し選択肢から正しいものを選ぶことができる 2.肘関節の構造特徴、運動軸の種類、主要筋群の理解し選択肢から正しいものを選ぶことができる 3.手関節の構造特徴、手部の構成、各関節構造と作用筋の理解し選択肢から正しいものを選ぶことができる 4.股関節の構造特徴、肩関節の相違点、主要筋群の理解し選択肢から正しいものを選ぶことができる 5.膝関節の構造特徴、関節内装置の理解、主要筋群の理解し選択肢から正しいものを選ぶことができる 6.足関節の構造特徴、足部の構成、各関節構造と作用筋の理解し選択肢から正しいものを選ぶことができる 7.頭蓋骨の構成と、含気骨・眼窩の把握、顎関節の構成と作用筋の理解し選択肢から正しいものを選ぶことができる 8.頭部の構造特徴、脊柱の構成特徴、骨盤の理解し選択肢から正しいものを選ぶことができる 9.胸郭の構造と特徴、背部の筋群の理解し選択肢から正しいものを選ぶことができる					
骨の名称、関節の構造、骨格筋の名称・起始停止等の復習。							
教科書・参考書							
教科書「解剖学 改訂第2版」(公社)全国柔道整復学校協会(医歯薬出版)							
受講上の注意							
一度だけでは理解できない部分は必ず反復学習してしっかり把握してください。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	肩の構造と機能 【肩関節の構造特徴、回旋筋腱板による保護、主要筋群の理解】			解剖学 改訂第2版P37～P39、P42～P44、P92～P97	教科書・筆記用具・ノート等		
第2回	肘関節の構造と機能 【肘関節の構造特徴、運動軸の種類、主要筋群の理解】			解剖学 改訂第2版P40～P41、P44～P45、P97～P102	教科書・筆記用具・ノート等		
第3回	手関節・手部の構造と機能 【手関節の構造特徴、手部の構成、各関節構造と作用筋の理解】			解剖学 改訂第2版P42、P45～P46、P102～P107	教科書・筆記用具・ノート等		
第4回	股関節の構造と機能 【股関節の構造特徴、肩関節の相違点、主要筋群の理解】			解剖学 改訂第2版P46～P51、P55～P56、P107～P114	教科書・筆記用具・ノート等		
第5回	膝関節の構造と機能 【膝関節の構造特徴、関節内装置の理解、主要筋群の理解】			解剖学 改訂第2版P51～P53、P56～P57、P114～P118	教科書・筆記用具・ノート等		
第6回	足関節・足部の構造と機能 【足関節の構造特徴、足部の構成、各関節構造と作用筋の理解】			解剖学 改訂第2版P53～P55、P57～P59、P118～P122	教科書・筆記用具・ノート等		
第7回	頭部の構造と機能 【頭蓋骨の含気骨・眼窩の把握、顎関節の構成と作用筋の理解】			解剖学 改訂第2版P59～P70、P76～P81	教科書・筆記用具・ノート等		
第8回	頸部・脊柱・骨盤の構造と機能 【頸部の構造特徴、脊柱の構成特徴、骨盤の理解】			解剖学 改訂第2版P28～P36、P81～P91	教科書・筆記用具・ノート等		
第9回	胸郭・背部の構造と機能 【胸郭の構造と特徴、背部の筋群の理解】			解剖学 改訂第2版P28～P36、P81～P91	教科書・筆記用具・ノート等		
第10回	定期試験				筆記用具		
実務経験と本講義との関連について							
本校卒業した柔道整復師・接骨院勤務歴12年。 柔道整復師として施術現場とかかわる柔道整復理論を講義します。 また、本校のOBとして、特に重視するべき点をお伝えいたします。							
メールアドレス							
sumiyoshi@nihonisen.ac.jp							